

地域一体となって青少年の育成を!

特集

スクラムを組んで青少年健全育成

青少年の健全育成のためには、家庭や学校、関係機関などの努力だけでは足りません。

地域で日ごろから子どもたちを温かく見守り、励まし、ときには注意する、有害な情報や環境から子どもたちを守るなど、より多くの人々がさまざまな地域活動にかかわることが、青少年の健全育成に大きな力となります。

問い合わせ／生涯学習課（☎581・2121内線532）へ。

少年非行の低年齢化が進行



寄居町青少年健全育成町民会議会長 矢部 伸昭

今年度も少年による事件・事故が相次いで発生しています。強盗や暴行など凶悪な犯罪や大麻などの薬物乱用、出会い系サイトの利用による性的被害などが多発しています。埼玉県警がまとめた「平成20年版少年非行白書」によると、埼玉県では、刑法犯少年が平成17年から連続して減少し、戦後

第3のピーク時（昭和59年）の半数になりました。しかし、一方では少年非行の低年齢化が進んでいます。刑法犯で検挙・補導された少年の数は10年前に比べ、中学生が約7割増加し、人数とその占める割合は、高校生を上回り、中でも13歳、14歳の大幅な増加が目立っています。また、ひったくりや路上強盗など街頭犯罪で検挙された人のうち、少年の占める割合が69.3%と高くなっています。

中学校PTA、県青少年育成推進員、主任児童委員の方々など、地域で活躍されている50名の委員さんです。駅前で行う非行防止街頭キャンペーンやコンビニ等の有害図書調査など、地域内での活動や他地区での先進事例視察研修などの事業に取り組んでいます。

合言葉に、家庭・地域が総ぐるみとなり、次の時代を担う子どもたちの健全な成長を目指して、今後もさまざまな活動を強力に進めてまいります。



大人がよいお手本を



男衾地区青少年健全育成協議会会長 石澤 邦彦

次の3つの標語をご存じですか。
○地域の人々とあいさつを交わしましょう。
○脱いだ履物はきちんとそろえましょう。
○ごみの投げ捨てはやめましょう。
これは、寄居町コミュニティ

協議会で進めている3つの運動の合い言葉で、今、県下すべての小・中学校で、子どもたちが身につけるべき基本的な達成目標として掲げている指導内容と共通しています。

かれました。また、親や大人が実践して子どもに良いお手本を示すことが大事で、「親（大人）が変われば、子は変わる」と話されました。

青少年健全育成での大きな成果となります。



地域ぐるみで青少年の健全育成を



城南中学校長 茂木 照司

少子化問題が取り上げられて久しいですが、城南中学校区の小・中学校3校も児童・生徒数は微減の傾向が続いています。次世代を担う子どもたちは、地域の宝であり、寄居町の将来を支える大切な宝物です。地域ぐるみ・町ぐるみで、子どもたちの健やかな成長のために力を合

わせていくことが大切だと考えます。

城南中学校では家庭や地域、関係機関と連携しながら、子どもたちの健やかな成長をめざしてさまざまな取り組みをしています。1年生では町内を中心に37カ所の事業所にご協力いただき、夏休みに社会体験チャレンジ学習を行いました。社会のルールやマナーを身につけ、職業観や自分の将来について考える機会を与えていただきました。



います。3年生の社会貢献ボランティアも、感謝の気持ちを持ってボランティア活動をすることが定着してきています。中学生の自転車乗り方について地域の方からご注意をいた